一般社団法人 GOLD 日本委員会

2013 年度

事 業 報 告 書

計　算　書　類

監 査 報 告 書

自　2013 年　4 月　1 日

至　2014 年　3 月 31 日

事 業 報 告 書

2014年5月13日

一般社団法人GOLD日本委員会

2013年度*事業報告書

（*2013年4月1日～2014年3月31日）

Ⅰ.法人の状況に関する重要な事項（事業の経過及びその成果）

1. 啓発事業

1-1. ホームページおよびソーシャルメディアによる情報発信

内容・結果： ① 2013年度アクセス数
アクセス数　379,293PV　　ユニークユーザー数　157,306UU

② ソーシャルメディアによる情報発信
ツイッターによる情報発信を検討していたが、ホームページとの連動に予算を大幅に超える費用がかかることが判明し、今年度は断念した。

③ ホームページリニューアル
啓発ツールの有償提供の開始にあわせ、ホームページを登録イベントにフォーカスしたレイアウトに変更するとともに、啓発ツールの申し込みフォームを整備。また、各種SNSのアイコンを設置した。

2. 啓発支援事業

2-1. 自治体の啓発活動支援

概　要：　健康日本21（第二次）の指針にしたがって啓発活動に取り組む自治体や団体を支援するため、啓発活動のノウハウや資材を案内・提供した。

実施時期： 2013年10月～

内容・結果： ① 資材提供案内の発送/メールの配信
ホームページ改修予算の不足からリニューアル時期が大幅に遅れたため、2013年度は案内を断念した。

② 啓発ツールの作成および提供

・ 有償で提供した啓発ツール

提供方法： ホームページでイベント・プラン登録後に遷延する啓発ツール申し込みフォームから注文を受け付け、宅急便等で発送

申込件数： 18件

提供資材	2013 年度 作成数	実費	送料	2013 年度 提供数
小冊子「肺の病気 COPD ってなんだろう」	5 万部	10 円 / 冊	実費	3,230 冊
GOLD リボン ピンバッジ	5,000 個	100 円 / 個	実費	4,070 個
GOLD リボン 応援団ステッカー	法人設立前に 作成	5 シートまで 無償	実費	30 シート
COPD 集団 スクリーニング 質問票（COPD-PS）	ディスカバリー COPD 研究会 からの支給	無償	実費	15 冊

・ 無償で提供した啓発ツール

提供方法： イベント・プラン登録者に自動配信メールでダウンロードページを案内

提供資材	仕様
世界 COPD デーポスター	PDF データ 2 種
勉強会用パワーポイント	Microsoft PowerPoint データ
ポスター・チラシテンプレート	Microsoft Word データ各 2 種
肺年齢チェック体験説明書 (検査質問票)	PDF データ
GOLD リボン応援団印刷データ	Adobe Illustrator および PDF データ 2 種
COPD 集団スクリーニング質問票 （COPD-PS）	PDF データ

③ イベント登録状況

・ 2013 年度のイベント登録件数：

32 件

2-2. 自治体担当者向けCOPD講演会の実施（パイロット）

目　的：　健康日本21（第二次）の目標達成に向けて具体的な施策を講じていく立場の自治体担当者にCOPDを理解してもらうことで、全国での啓発事業を活性化するために実施した。まずはパイロットとして東京・静岡の2会場で実施、検証を行った。

対　象：　自治体の健康政策担当者

開催概要：

	東京会場	静岡会場
開催日時	2013 年 6 月 27 日（木） 14 時 30 分～16 時 30 分	2013 年 7 月 3 日（水） 14 時 30 分～17 時 00 分
会　　場	TKP 東京駅前カンファレンスセンター カンファレンスルーム 9A	JR 静岡駅ビル パルシェ 7 階 貸会議室 D 会議室
内　　容	● 講習会の主旨説明、活動の概要 ● 講演「COPD の疾患概念、診断、治療」 ● COPD 啓発活動の事例紹介 ● スパイロによる肺機能チェックの実際/体験	● 講習会の主旨説明、活動の概要 ● 講演 1「COPD の疾患概念、診断、治療」 ● 講演 2「健康な肺と病気の肺 ー肺機能を中心にー」 ● COPD 啓発活動の事例紹介 ● スパイロによる肺機能チェックの実際/体験
講　　師	一般社団法人 GOLD 日本委員会 業務執行理事・東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 教授　長瀬隆英先生	● 一般社団法人 GOLD 日本委員会 業務執行理事・東京大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学 教授　長瀬隆英先生 ● 静岡市立静岡病院呼吸器外科　千原幸司先生
参加者数	26 名（17 団体）	18 名（16 団体）

結　果：　① 講演内容、スパイロ体験ともに好評であった。

② COPD 認知度向上に向けて一般社団法人 GOLD 日本委員会に期待すること
として、大きく以下の 4 点が挙げられた。

・講師派遣
・スパイロ体験の仕組み（機器レンタル・人材派遣）
・資材の提供（冊子・ポスター・パネル・DVD）
・勉強会開催

2-3. 自治体担当者向けCOPD講演会の実施（特別協賛事業として実施）

概　要：　パイロット（2-2）での実施結果からパッケージプランを構築し、ディスカバリーCOPD研究会との特別共催事業として全国に展開。2013年度は7会場で実施した。

対　象：　自治体の健康政策担当者

実施概要：附属明細書に記載

基本プログラム：附属明細書に記載

開催概要：

	開催日時	会場	参加団体数
神奈川会場	2013/10/23(水) 14：30～17：00	TKP横浜駅西口カンファレンスセンター カンファレスルーム3	19団体（22名）
栃木会場	2013/10/31(木) 9：30～12：00	栃木県庁本館９階 会議室３	?団体（21名） ※県で集計したため団体数不明
宮城会場	2014/1/14（火） 14：30～17：00	フォレスト仙台 第7会議室	14団体（21名）
岐阜会場	2014/1/22（水） 14：30～17：00	じゅうろくプラザ 小会議室１	8団体（12名）
群馬会場	2014/1/29（水） 13：30～16：00	ぐんま男女共同参画センター4F 大研修室	22団体（33名）
福岡会場	2014/2/6（木） 14：30～17：00	リファレンス駅東ビル G会議室	13団体（22名）
高知会場	2014/3/14（金） 14：30～17：00	高知共済会館 COMMUNITY SQARE 3F 中会議室「藤」	7団体（11名）

結　果：① COPD 認知度向上に向けて一般社団法人 GOLD 日本委員会に期待すること
として、大きく以下の 5 点が挙げられた。

・ 講師派遣・紹介
・ 資材の提供および紹介（小冊子・勉強会用パワーポイント、COPD-PS 等）
・ 啓発（マスメディアを利用した市民への広い啓発を含む）および情報提供（自治体等の活動状況も含め）
・ スパイロ体験の仕組み（機器レンタル・人材派遣・実施協力等）
・ 講習会の開催（自治体関係者および専門職向け）

このほか、自治体・医師会・薬剤師会の間の連携強化などを GOLD 日本委員会に期待するという回答があった。

② 講演については、地域での啓発活動に「とても役に立つ」または「役に立つ」と 99.1%（105/106 名）の参加者が回答した。COPD 啓発活動の事例紹介について、「とても参考になる」「参考になる」と回答した参加者は合わせて 86.8%（92/106 名）だった（残る 14 名は無回答）。両プログラム共に、参加者から高い評価を得た。

③ 講演および COPD 啓発活動の事例紹介への高い評価と、その理由や他に知りたかったことに様々な回答が寄せられたことから、参加者の COPD の知識獲得や啓発への強い意欲が伺えた。

④ スパイロによる肺機能チェックの実際/体験については、初めて体験した参加者も多かったようで、難しい・苦しかったなどの感想もあった一方、啓発に繋げられそうなどの前向きな感想や、地域での実施にあたっての疑問点も多く寄せられ、自治体でのスパイロの実施に対し、興味を持っていただけたことが伺えた。

⑤ 54.2%（45/83）の団体で、COPD 認知度向上に向けての事業を本年度に実施予定または検討中であるとの回答があった。

【実施予定事業の内容】

- 健康イベントでの肺年齢測定
- 特定健診でのスクリーニング検査
- 市民向け COPD 講演会
- 禁煙教室での周知　　　　　　　　など

⑥ 講習会に参加した自治体から、後日、イベント・プラン登録、啓発ツール申し込み、スパイロ検査実施業者紹介依頼、講師派遣の打診、広報誌等への啓発ツール転載許可申請などの反響があった。

3. 認知度把握調査事業

3-1. COPD認知度把握調査

概　要：　健康日本21（第二次）の指標として取り上げられたGOLD日本委員会の調査と同じ方法論で、認知度の推移を調べた。

実施時期：　2013年12月16～18日

内　容：　全国 10,000 人の成人男女を対象としたインターネット調査

実施概要：

	予備調査	本調査
方法	インターネット調査	
調査期間	2013.12.16（1日間）	2013.12.17-18（約24時間）
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に1,000人ずつを均等ランダム抽出した10,000人	予備調査でCOPDが「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に11人ずつを均等ランダム抽出した110人
調査内容	Q1. あなたはCOPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか？ Q2. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？ Q3. 「COPDの早期発見に肺年齢の検査が有効である」と言われていることを知っていますか？	Q1. COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？ Q2. どのような経路でCOPDについて知りましたか？ Q3. COPDの原因の90%以上は喫煙であることを知っていますか？ Q4. 喫煙経験のある40歳以上の8人に1人は、COPDの可能性があることを知っていますか？ Q5. COPDの主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？

結　果：　COPDの認知度は30.5%で、初めて30%を超えた。2009年から　2010年にかけての3回の調査では、COPDの認知度は17%台で変化がみられなかったが、2011年には25.2%に上昇し、2012年には28.1%、2013年には30.5%　とさらに上昇した。

プレスリリース配信状況：

・配信日　2014年1月7日

・配信方法　本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブへの持ち込みおよびインターネットプレスリリース配信サービスのAEROPRES、内外総合通信社を通じて配信。

メディア掲載状況：

メディア掲載数4件

4. 調査研究事業

4-1. 順天堂大学でのパイロットstudy

目　的：　当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」を計画するための基礎データを得る。

実施時期：2013年4月～

内　容：　順天堂大学で術前肺機能検査を行った4,000人のデータをレトロスペクティブに解析した。1秒率70%未満の患者（COPD）とそれ以外の患者で①併存症に違いがあるかどうか、②術後合併症に違いがあるかを調べた。結果を基に2013年APSRにてポスター発表を行った。

結　果：　2013年APSRポスターを附属明細書に記載

4-2. COPD早期診断につながる疫学研究について情報交換の機会を検討する

目　的：　当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」に関連する多施設の研究を促進する。

実施時期：2013年度中

内　容：　研究内容に関する情報交換（発表）の場を設けられないか検討した。

結　果：　2014 年度の事業として順天堂大学、東京大学、日本医科大学呼吸ケアクリニックの 3 施設において「睡眠呼吸障害（SDB）と COPD －疫学と病態に関する後ろ向き研究」というテーマで研究を行うことを決定した。

5. その他

5-1. 会員募集及び管理業務

ホームページ（www.gold-jac.jp）などを通じ、会員の募集を行った。2013 年度の会員数は以下のとおり。

特別賛助会員：　9 企業

賛助会員：　3 企業・団体

正会員：　20 名・団体

5-2. 後援名義等の使用承認

2013 年度に以下の 7 件の後援名義使用承認を行った。

許可番号	後援/共催	申請者	事業名	承認日	承認の条件	開催日
0003	後援	独立行政法人環境再生保全機構	COPD 啓発イベント	2013.10.8	特になし	2013.11.3
0004	後援	東京都	健康づくりシンポジウム「肺の健康を考えよう」	2013.10.20	特になし	2013.11.30
0005	後援	北九州健康サービス創造プロジェクト実行委員会	第三回健康フェア	2013.10.25	特になし	2014.1.12
0006	後援	公益社団法人神奈川県理学療法士会	冬のセミナー	2014.1.20	特になし	2014.2.16
0007	後援	NPO 法人　日本呼吸器障害者情報センター	第 7 回 LUNG WALK JAPAN	2014.2.26	特になし	2014.4.26-27
0008	後援	株式会社博報堂（主催：朝日新聞社）	朝日新聞紙上討論会「COPD 治療にいかに取り組むか」（仮）	2014.2.26	掲載紙 1 部を事務局へ送付	2014.3.21-5.21
0009	後援	公益社団法人日本医師会	第 7 回　呼吸の日記念フォーラム（2014）	2014.4.8	特になし	2014.5.11

Ⅱ.業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

1. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤/ 非常勤	就任年月日	報酬	担当職務	現職名
理事	福地　義之助	非常勤	2012.10.09	無	代表理事	順天堂大学医学部呼吸器内科客員教授
理事	一ノ瀬　正和	非常勤	2012.10.09	無		東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授
理事	植木　純	非常勤	2012.10.09	無		順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学　教授
理事	木田　厚瑞	非常勤	2012.10.09	無		日本医科大学特任教授
理事	瀬山　邦明	非常勤	2012.10.09	無	事務局長	順天堂大学医学部呼吸器内科准教授
理事	永井　厚志	非常勤	2012.10.09	無		東京女子医科大学統括病院長
理事	長瀬　隆英	非常勤	2012.10.09	無	業務執行 理事	東京大学医学部呼吸器内科教授
理事	西村　正治	非常勤	2012.10.09	無		北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授
理事	三嶋　理晃	非常勤	2012.10.09	無		京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授
監事	工藤　翔二	非常勤	2012.10.09	無		公益財団法人結核予防会複十字病院院長

2. 事務局業務に関する事項

昨年度に引き続き、会計事務を含む事務局業務を外部業者である株式会社エム･シー･アンド･ピーに委託した。

委託先: 〒100-0011　東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号　NBF 日比谷ビル 19 階
株式会社エム・シー・アンド・ピー
TEL :　03-3597-0175　　FAX :　03-3597-0177

3. 会議等に関する事項

会議名 開催年月日	議事事項
第 1 回通常理事会 2013.5.13	【議案審議】 第 1 号議案　事業報告および決算承認 2012 年度の事業報告書および決算資料について事務局より報告があった。 工藤監事より、業務および経費内容が妥当であるとの監査結果が報告された。 2012 年の事業報告および決算について承認された。 第 2 号議案　入会承認 正会員入会申請者 1 名の入会が承認された。 賛助会員入会申請者 2 団体の入会が承認された。 【報告事項】 2013 年度活動進捗報告が行われた。 1. 自治体健康政策担当者向け COPD 講習会の実施（パイロット）について 2. 調査研究事業のパイロットスタディについて 3. 啓発小冊子改訂について

定時社員総会 2013.6.13	【報告事項】 1. 2012 年度事業報告及び計算書類報告 （1）2012 年度の事業報告書について事務局より報告があった。 （2）2012 年度の計算書類について事務局より報告があった。 （3）2012 年度の監査報告書について事務局より報告があった。 2. 2013 年度事業計画及び収支予算報告 （1）2013 年度の事業計画書について事務局より報告があった。 （2）進捗中の事業について事務局より報告がなされた。 ① 自治体への啓発支援事業のうち、啓発小冊子の改訂の進捗について ② 自治体健康政策担当者向け COPD 講習会の実施（パイロット）の開催予定について（東京と静岡の 2 箇所で開催予定） ③ 自治体健康政策担当者向け COPD 講習会の実施（特別協賛事業）の進捗について ④ パイロットスタディとして、順天堂大学呼吸器外科の協力を得て行う調査研究事業の進捗状況 3. 2013 年度の収支予算書について事務局より報告があった。
第 2 回通常理事会 2014.3.25	【議案審議】 第 1 号議案　2014 年度事業計画 2014 年度事業計画案が一部修正の上承認された。 また、2. 啓発支援事業 2-1. 自治体の啓発活動支援に関連して、日本医師会との協働について提案がなされた。 第 2 号議案　2014 年度収支予算 2014 年度収支予算案が原案通り承認された。 【報告事項】 2013 年度の事業活動について事務局より報告があった。 1. 啓発事業：ホームページリニューアルの概要とアクセス数、ソーシャルメディアによる情報発信について 2. 啓発支援事業： ① 2-1.自治体の啓発活動支援について（啓発ツールの作成・提供およびイベント登録の状況） ② 2-2.自治体担当者向け COPD 講演会の実施（パイロット）および 2-3.自治体担当者向け COPD 講演会の実施（特別協賛事業として実施）について（概要および結果の報告） 3. 認知度把握調査事業について（認知率が 30.5%と初めて 30%を超えた） 4. 調査研究事業：順天堂大学でのパイロット study について（結果を 2013 年 APSR でポスター発表） 2013 年度の事業活動の報告を受け、自治体担当者向け COPD 講演会について ● 実施後のフォローアップの必要性とその方法についての検討が行われた。 ● 岐阜県 COPD 対策協議会 本部長 大林浩幸先生を特別アドバイザーに迎えることが提案された。 2013 年度予算の収支中間報告が行われた。

以上

計　算　書　類

貸借対照表

（平成26年3月31日現在）

（単位：円）

科　目	金　額	科　目	金　額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	2,870,340	未払金	4,727,100
未収会費	1,004,000	未払法人税等	70,000
売掛金	4,200		
貯蔵品	1,766,480	負債合計	4,797,100
		（正味財産の部）	
		一般正味財産	847,920
		正味財産合計	847,920
資産合計	5,645,020	負債・正味財産合計	5,645,020

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
(1)　経常収益			
①　受取会費			
特別賛助会員	8,500,000	8,500,000	0
賛助会員	300,000	100,000	200,000
一般会費	44,000	92,000	-48,000
②　事業活動収入			
物品販売収入	485,525		485,525
③　雑収益			
受取利息	564	51	513
経常収益計	9,330,089	8,692,051	638,038
(2)　経常費用			
①　事業費			
運営費		1,093,334	-1,093,334
会場費		202,419	-202,419
イベント運営費		467,250	-467,250
検査技師手数料		57,750	-57,750
啓発支援事業費	1,003,616	1,947,418	-943,802
広報活動費		365,894	-365,894
チラシ製作費		613,668	-613,668
講演料		291,663	-291,663
認知率調査費		304,500	-304,500
調査費用	364,760		364,760
ホームページシステム改修費	903,000		903,000
旅費交通費		160,542	-160,542
物品販売事業	547,539		547,539
②　管理費			0
設立準備諸経費		262,500	-262,500
運営費	4,410,000	1,840,000	2,570,000
通信費	61,745	6,053	55,692
旅費交通費	489,450	63,680	425,770
会議費	371,423	450,589	-79,166
会計・決算費用	315,000	315,000	0
租税公課	72,113	29,100	43,013
雑費	140,799	23,415	117,384
経常費用計	8,679,445	8,494,775	184,670
当期経常増減額	650,644	197,276	453,368
当期一般正味財産増減額	650,644	197,276	453,368
一般正味財産期首残高	197,276	0	197,276
一般正味財産期末残高	847,920	197,276	650,644

財務諸表に対する注記

（1） 重要な会計方針

① 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込処理を採用しています。

（2） 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

財産目録

平成26年3月31日現在

（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金		手元保管	2,257
	預金	普通預金		
		三井住友銀行　神保町支店	運転資金として	2,777,208
		当座預金		
		ゆうちょ銀行　〇一九店	運転資金として	90,875
		預金合計		2,870,340
	未収会費	特別賛助会員･賛助会員会費	運転資金として	1,004,000
	売掛金		物品販売代金として	4,200
	貯蔵品	106.26円/個×228個	GOLDピンバッチ	24,227
	貯蔵品	39.27円/冊×44,366冊	「COPDってなんだろう」小冊子	1,742,253
		預金合計		2,774,680
流動資産合計				5,645,020
資産合計				5,645,020
（流動負債）				
	未払金		管理費に係る費用の未払い	4,727,100
		未払金合計		4,727,100
	未払法人税等	東京都　法人都民税均等割		70,000
流動負債合計				4,797,100
負債合計				4,797,100
正味財産合計				847,920

一般社団法人GOLD日本委員会
2013年度収支決算報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

一般会計　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

科　　目	2013年度 予算額①	2013年度 実績②	差額③	備考
【収入の部】				
特別賛助会費収入	11,500,000	8,500,000	−3,000,000	
賛助会費収入	100,000	300,000	200,000	
寄付金収入	0	0	0	
会費収入	36,000	44,000	8,000	
事業活動収入	1,575,000	485,525	−1,089,475	自治体の啓発活動支援事業
受取利息	51	564	513	
当期収入合計（A）	13,211,051	9,330,089	−3,880,962	
前期繰越収支差額	215,820	197,276	−18,544	
収入合計（B）	13,426,871	9,527,365	−3,899,506	
【支出の部】				
運営費	6,437,000	5,860,530	−576,470	
事務局委託費	4,410,000	4,410,000	0	2013年4月～2014年3月/12ヵ月
会計・決算費用	315,000	315,000	0	税理士費用等
会議費	1,000,000	371,423	−628,577	委員会、理事会2回
旅費交通費	600,000	489,450	−110,550	
通信費	10,000	61,745	51,745	
振込手数料	22,000	15,120	−6,880	
地方税（均等割）	70,000	72,113	2,113	
法人設立準備費、登記費用	0	0	0	一般社団法人設立、認証手数料、謄本交付手数料、登録免許税、行政書士費用
雑費	10,000	125,679	115,679	文具、消耗品等
事業活動費	6,640,000	4,585,395	−2,054,605	
1. 啓発事業費	525,000	903,000	378,000	
ホームページシステム改修	525,000	903,000	378,000	ホームページリニューアル、啓発ツール申し込みフォーム追加修正
その他	0	0	0	神奈川県肺年齢測定イベント、メディアフォーラム、吹田市/市民病院共催市民講座
2. 啓発支援事業費	5,300,000	3,317,635	−1,982,365	
自治体の啓発活動支援	3,000,000	3,022,740	22,740	制作、印刷費一式
自治体担当者向けCOPD講演会	2,300,000	294,895	−2,005,105	イベント準備、運営一式
3. 認知度把握調査事業費	315,000	304,500	−10,500	
インターネット調査	315,000	304,500	−10,500	
4. 調査研究事業費	500,000	60,260	−439,740	
パイロット調査	500,000	60,260	−439,740	順天堂大学
準備費	0	0	0	
当期支出合計（C）	13,077,000	10,445,925	−2,631,075	
当期収支差額(A)−(C)	134,051	−1,115,836	−1,249,887	
次期繰越収支差額（B）−（C）	349,871	−918,560	−1,268,431	

監 査 報 告 書

監査報告書

平成 26 年 5 月 13 日

一般社団法人　GOLD 日本委員会

代表理事　　　福 地 義 之 助

一般社団法人　GOLD 日本委員会

監事　　工　藤　翔　二　㊞

私たちは平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度における一般社団法人 GOLD 日本委員会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法概要

（１） 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

（２） 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

（１） 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。

（２） 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上